

すこやかな庭
支援プログラム

すこやかな庭では「一人ひとりの個性・特性にあった支援を通じ、子供が自立し社会に順応して生活していく生きる力を育む」を目指し子供たちの支援にあたらせていただいています。ベースとして「一人ひとりの豊かな個性・特性」があり、その上に日常生活のスキルなど様々な経験をすることで積み重ねていくことが自立する力につながると考えています。

個性・特性・・・すこやかでは自分らしく過ごせる空間で、その子本来の個性を肯定的に育むことを一番に考えています。そのため、すこやかな庭で過ごす日常の何気ない生活において絵を書いたり、公園で走り回ったり工作をしたりなど様々な好きな事や興味のある事などに熱中することで少しずつ自信をつけていき色々なことに主体的にチャレンジする人間性、好奇心を育むお手伝いをさせていただきます。なにより、毎日笑顔で楽しく過ごせる時間を一緒に過ごせることを心掛けています。

スキル・・・1対1や複数人数でのコミュニケーションの力を育むことや目や耳から入る情報を得る力、集中力や読解力を育むことを目的としてカードゲームを用いています。楽しみながら失敗すること、成功すること、勝ち負けなどや自分たちで様々なルールを決めたり守ることなどの力を育むプログラム作りをしています。また、学校休校日を利用しての色々な行事活動を経験する中で、友達と関り社会のマナーやルール、コミュニケーションスキルなどを学んでいきます。このように日常、非日常で色々な人と関りながらその子らしい生き方を一緒に見つけていける場、体験の提供を積極的に設けています。

今までお話してきました事を念頭に置きすこやかな庭では考える7つのスキルアッププ

プログラムを提唱しています。

将来のために今できることで力をつける。今しかない大切な時期だからこそ、一人ひとりの発達や特性に合わせた7つのスキルアッププログラムで、「遊ぶこと」で様々な感覚を学び、「体験すること」で豊かな感性を育み、「役割を持つこと」で自立心自尊心を育て、将来が見通せるよう精一杯支援しています。

① 言語・コミュニケーション・学習スキル

日常生活や社会に出た時に必要になるのが、言語・コミュニケーションスキルです。

感情と行動をコントロールする術を身につけ、

お友だちとの円滑な相互関係を保てるような基本的な社会的スキルを学びながら、

日常生活の中でそれらのスキルをうまく使えるようにトレーニングしていきます。

- 絵カードによる理解

- コミュニケーションボードによる伝達

- SST アプローチによる会話の練習

など

②社会性・ソーシャルスキル

遊びやグループワークを通して社会で生きていくためのスキルアップを支援します。

- 遊びの中での物の貸し借り、嫌と拒否できること

- 声のボリューム（声のものさし）

- BBC（良い行動のためのチャート）

など

③ 遊び・運動・身体スキル

遊びや運動などを体験することで遊び・運動・身体スキルアップを支援します。

- 公園遊び・集団遊び

- トランポリン、室内ゲーム、プール（夏季）

- 「すこやか農園」での農作業

など

④ 役割・生活スキル

一人ひとりに役割を持ってもらうことで自己有能感・自立心・自尊心スキルアップを支援します。

- はじまりの会・帰りの会での司会

- お手伝い（テーブル拭き、お茶入れ、配膳、お皿洗い、室内掃除など）

- ほめ言葉シャワー

など

⑤ 就労・創作・社会進出スキル

余暇活動や創作活動を通して、将来自分で楽しみをもって過ごせるためのスキルアップを支援します。

- 手芸や工作など

⑥感受性・カルチャースキル

毎月季節にちなんだ行事を企画し、文化に親しみながらスキルアップを支援します。

●レクリエーションやゲーム

●季節ごとのイベント（プール、ハロウィーン、クリスマス、初詣など）

⑦身辺自立・ライフスキル

日々の生活において基本となる動作や習慣のスキルアップを支援します。

●ひとりひとりの課題に個別に対応

●トイレ、身支度、食事、時間の概念など

よりよいスキルアップのための支援体制

私たちはお子さんが帰った後に毎日、全員ミーティングを行い、一日の振り返りを時間をかけてしっかりと行っています。

お子さんひとりひとりの細かな言動や動作も全員で確認し、成長や改善を細かく把握。またお子さんへの対応の評価や改善も行い、アセスメントのこまめな更新を実施しています。

また、個別支援計画書をスタッフ全員で話し合った上で作成し、モニタリングもしっかりと行いながらきめ細やかな支援を目指し日々研鑽に努めています。

ご家族との面談やコミュニケーションも大切にしており、皆さんに寄り添いながら一緒に考え協力し合う体制づくりをしています。

